

<参考資料>

2015年3月13日

株式会社 博報堂

博報堂のプロダクト・イノベーション・プロジェクト「monom」、
“動き”を楽しむロボットドール「iDoll」の詳細および
iDoll専用アイドルユニット「あい☆どーるず」を発表



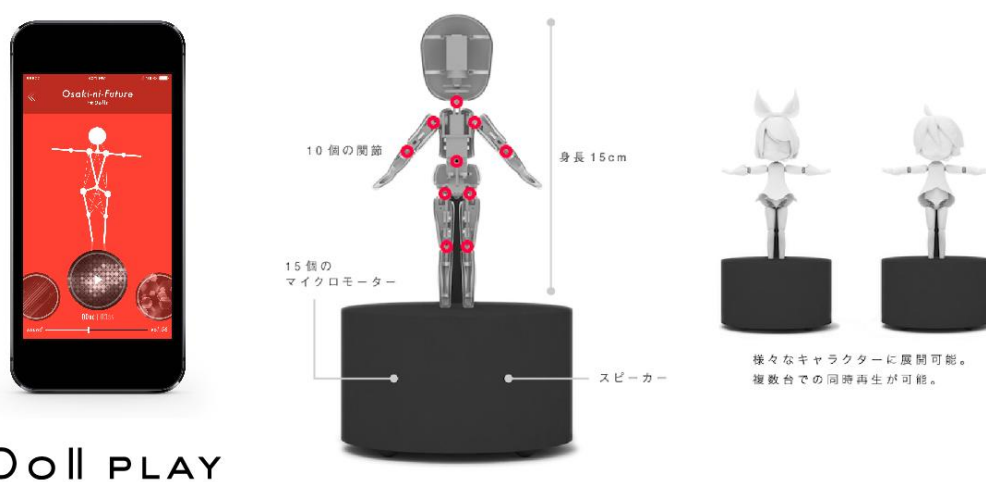
iDoll

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）のプロダクト・イノベーション・プロジェクト「monom(モノム)」は、ユカイ工学株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：青木俊介）と共同開発中の“動き”を楽しむロボットドール「iDoll（アイドル）」のプロトタイプの詳細を発表。同時に様々な動きを通してiDollの魅力伝えていくiDoll専用の二人組アイドルユニット「あい☆どーるず」のデビュー曲およびミュージック・ビデオを公開いたしましたのでお知らせいたします。

また、3月14日から18日まで米国テキサス州オースティンにて開催される世界的なトレードショーSXSW(サウスバイ・サウスウエスト)にて、iDollおよび「あい☆どーるず」を展示いたします。

<iDoll 詳細>

iDoll は、手のひらサイズの身長 15cm のロボットドールです。15 個のマイクロモーターと 10 個の関節によって、ダンスや挨拶、一発ギャグなど、様々な動きを音声とともに再生することができます。操作は、スマートフォンの専用アプリ「iDoll PLAY」で行い、「歩く」「ジャンプ」などのアクションや歌に合わせたダンス、漫才など、好きな動作プログラムを選んで、再生させることができます。また、複数台を同期させて同時に動かすことも可能。さらに、見た目を変えることで、様々なキャラクターに展開することができます。



iDoll PLAY

今後、iDoll の動作プログラムを直感的に作成できるパソコン用ソフトウェア「iDoll EDIT」や好きな動きをダウンロードしたり、作成した動きを発表・交換したりできる iDoll のコミュニティサイト「iDoll CIRCLE」も開発予定です。



iDoll EDIT

iDoll CIRCLE

※「iDoll PLAY」「iDoll EDIT」「iDoll CIRCLE」のスペック、仕様等は現在未定です。本体の iDoll の製品化とともに具体化していきます。

iDoll プロジェクトサイト URL : <http://idoll.tokyo/>

<あい☆どーるず概要>

「あい☆どーるず」は、iDoll 専用のキャラクターである、ツン&クールな「ヒカリ」とボーイッシュだけど心は乙女な「ミキ」からなる2人組のアイドルユニットです。デビュー曲「お先にフューチャー」での歌と踊りを通して iDoll の魅力を伝えていきます。

キャラクターデザインは、PIXIVなどで活躍中の漫画家/イラストレーターの「TNSK」が、声優にはニコニコ動画で人気の「ななひら」と「桃箱」を起用。

デビュー曲は、著名ボカロP（ボーカロイド楽曲制作者）の「キャプテンミライ」がプロデュース、また有名アーティストやアイドルへの振り付けを行なうほか、ニコニコ動画の「踊ってみた」ジャンルで活躍する ANDY が振り付けを担当。ネット上で活躍する豪華メンバーが「あい☆どーるず」のミュージック・ビデオ制作に参加しています。

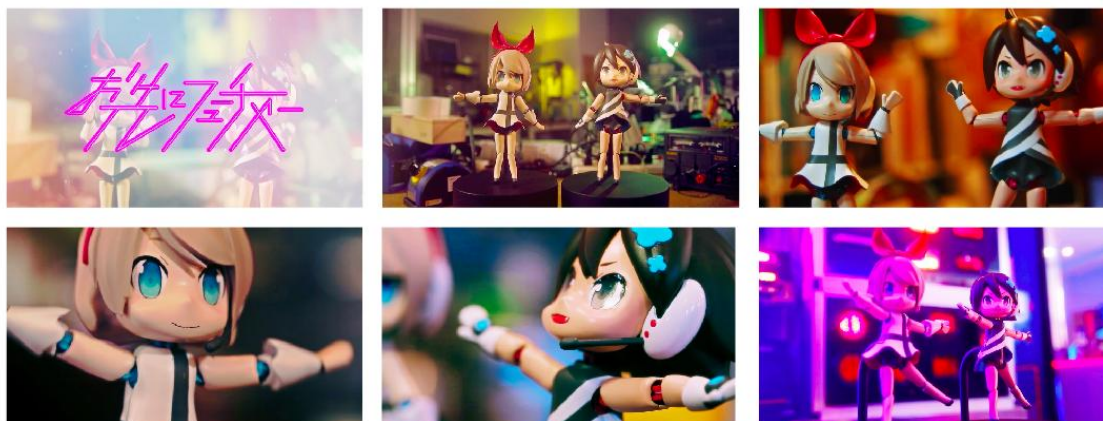
ミュージック・ビデオ「お先にフューチャー」：<https://youtu.be/axVKRjJmAyg>

あい☆どーるず



ヒカリ

ミキ



<製品化パートナー募集について>

iDoll は、コンセプトモデルです。現在、「iDoll」を市場に出すために共同で量産、販路開拓を行っていただける製品化パートナーを募集しております。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：info@idoll.tokyo (担当：monom 小野)

<monom について>

monom (モノム) は、モノ×テクノロジーで、新しい生活文化の提案と新しい市場の開拓を目指す、博報堂のプロダクト・イノベーション・プロジェクトです。デザイン、テクノロジー、マーケティング、そしてビジネスのプロが、それぞれのクリエイティビティを掛け合わせ、これまでにないプロダクトを提案します。

URL：<http://mono-m.jp/>

<ユカイ工学株式会社について>

ロボティクスベンチャー。ソーシャルロボット「ココナッチ」や、フィジカル・コンピューティング・ツールキット「konashi」など IoT デバイスの製品化を多く手がけています。2014 年には、家族をつなぐコミュニケーションロボット「BOCCO」を発表。共同開発では、メガネ型デバイス「Telepathy One」、次世代型ハンガー「チームラボハンガー」などがあります。

URL：http://ux_xu.com/

<プロジェクトチーム>

開発・プロデュース：monom、ユカイ工学株式会社

造形デザイン&プロデュース：株式会社ケイズデザインラボ

映像プロデュース：株式会社 AOI Pro.

コンテンツプランニング・PR：ガリガリ編集部

アプリ・ウェブサイトプロデュース：株式会社 博報堂アイ・スタジオ